

公益財団法人不老会会員およびご遺族の皆様へ

当講座では、下記の医学系研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学病院倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。今回の研究は、対象となる方一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開することが求められている研究です。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	外腸骨静脈および総大腿静脈の静脈弁の正常解剖と下肢静脈瘤・深部静脈血栓症との関連性の検討
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	血管外科、解剖学講座、中央臨床検査部
研究責任者	血管外科 助教 三岡裕貴
研究の意義・目的	腸骨静脈、大腿静脈の静脈弁の正常解剖を明らかにし1次性下肢静脈瘤発生との関連を検討します。また静脈弁の存在が深部静脈血栓症発症に関連するか検討します。
対象となる患者さん	倫理審査承認後から2025年12月31日までに医学教育に使用されるご献体を研究の対象とします。
研究の方法	御献体を試料とし、左右の腸骨静脈、大腿静脈、大伏在静脈を剖出し、静脈内腔を確認し静脈弁が存在するものに対して3×3cm大の静脈弁の組織を採取し、組織学的に検討します。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2026年3月31日
個人情報の取り扱い	利用する情報から、お名前、住所など個人を特定できる個人情報は削除して利用します。また、研究結果は学会や論文などで発表されますが、個人を特定できる個人情報は利用しません。本研究への参加拒否および、実験内容に関する相談は下記の問い合わせ先で対応します。本研究による成果は、国内外の学会での口頭およびポスター発表、ならびに学術雑誌の論文投稿として公表します。個人情報などの本研究への利用を拒否される方は、2025年12月31日までに下記問い合わせ先まで申し出てください。
その他	本研究は講座等研究費で行う研究であり、企業・団体等とは関係しないため、利益相反は生じません。
問い合わせ先	愛知医科大学 血管外科 担当者：三岡裕貴 電話 0561-62-3311（内線 22140）